

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2025年4月28日時点)

- **露軍は、クルスク州及びウクライナ東部・南部地域**において攻勢やウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続。また、ウクライナ軍も露領内への攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者約19.8万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: **死者約20万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)

: **死傷者約90万人**(英国防省25年3月20日)

「ウ」軍: **死者4.3万人**(ゼレンスキー大統領24年12月8日)

: **死者約8万人、負傷者約40万人**(WSJ24年9月17日)

「ウ」市民: **死者12,654人以上、負傷者2万9,392人以上**(UN25年2月21日)

- 「ウ」空軍は、**F-16戦闘機のパイロット1名**が戦闘任務中に**死亡**したと発表。露国防省は、**防空システム**によりF-16を**撃墜**したと表明(4月12日、13日)
- 「ウ」国家親衛隊司令官は、露が**ポクロフスク方面に対して大規模攻撃**を実施も、「ウ」が**兵員240名以上のほか、オートバイ×96、装甲戦闘車両×21**などを破壊し撃退した旨発表(4月17日)
- 露国防省は、4月18日にドネツク州**ヴァレンチニウカ**、22日に同州**スハ・バルカ**、23日に同州**タラシウカ**を解放したと発表

- ハルキウ州**検察局は、露が焼夷榴弾型の弾頭と搭載した「**イスカンデル**」ミサイルで、**集合住宅や民間企業**を攻撃したと発表。「ウ」国家非常事態庁は、**1名が死亡**、114名が負傷と表明(4月18日)
- 「ウ」軍参謀本部は、「ウ」空軍が、**露クルスク州**チョトキノの**無人機発射基地**を成功裏に攻撃と表明(4月21日)。また、戦争研究所(ISW)は、「ウ」がタタルスタン共和国のシャヘド型無人機の製造拠点に対して無人機攻撃を行った可能性がある旨指摘(4月24日)。
- ザポリジャ州**知事などの発表によれば、露が2発の**誘導爆弾**で攻撃し、**1名が死亡**、38名が負傷し、集合住宅などが損壊(4月22日)
- 「ウ」空軍は、**露が「ウ」全土に対し、弾道ミサイル「イスカンデルM/KN-23」や巡航ミサイル「Kh-101」、「カリブル」などミサイル×70発、シャヘド型など無人機×145機**からなる**大規模攻撃**を実施と発表。「ウ」国家非常事態庁は、**首都キーウ**への攻撃により**12名が死亡**、90名が負傷と表明(4月24日)

- 主要都市(下線は州都)
- 💣 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 🟡 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🟦 ウクライナ軍が占領した地域

- 「ウ」外務省は、中国大使に対し**中国企業が露での軍事製品の生産に関与**していることに対する深刻な懸念などを表明したと発表(4月22日)
- 米メディアは、西側当局者によれば、**米国が「ウ」に対し、米国による露のクリミア「併合」承認や「ウ」NATO加盟の除外を含む停戦構想を提示**と報道(4月20日)
- ゼレンスキー大統領は、「ウ」は**クリミアを露領土であると法的に認めることはない**と発言。これに対し、トランプ大統領は、**露との和平交渉にとって極めて有害**と表明(4月22日、23日)
- プーチン大統領は、24年に、**150万機以上の多様な無人機(各日約4千機のFPVドローンなど)**が前線部隊に送られたと発言(4月23日)

- 露参謀総長は、プーチン大統領に**クルスク州を完全に奪還**した旨報告。他方、「ウ」軍参謀本部は、**クルスクの特定地域で「ウ」軍の防衛作戦が継続**と表明(4月26日)
- 露参謀総長は、**クルスク奪還に北朝鮮兵士が参加**したと発言。また、北朝鮮も、**クルスク解放作戦に参加**した等とする中央軍事委員会の書面立場文を発表(4月26日、28日)



国土地理院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等